

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	09	01	04	0402	消防水利維持管理整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-3	防災危機管理体制の充実			
	施策	3	消防力の強化			
目的	消防水利の充実					
対象	市民					
意図	火災時に市民の生命・財産を守るため消防水利を整備する					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○消火栓維持管理 ・火災等の災害時、支障なく使用し活動できるよう消火栓の保守点検及び維持管理を行い不具合のある水利については必要な修繕を実施する。 ○消火栓水利施設整備 ・火災時の被災建物等を早期鎮圧・鎮火し、また、他への延焼を防止するため新設消火栓を設置する。 ・支障消火栓の移設 ・老朽化防火水槽の撤去						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	消防水利の整備	箇所	計画	10	10	
			実績	8	7	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	消防水利の充足率	%	目標	53.0	53.0	
			実績	52.3	52.1	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
27年度は土木工事積算基準の改正に伴う諸経費の増率が大きな要因となり、1基当たりの施工単価が高くなったため、28年度は内容を更に精査し、消防水利の充足率向上に向け継続的に計画を進める。 また、老朽化した消火栓等の水利の実態を把握し、計画的に修繕や更新整備を進める。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市民を火災から守るという消防の責任を果たす必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	消防水利の充足率が100%に至っていない。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	消防水利は設置基準に基づき計画的に順次整備する必要がある。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	消防水利が充足されている地域と、そうではない地域の格差を解消する必要がある。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
消防水利不足地域の改善と、大規模地震災害時における発生した火災を想定し、耐震性を有した消防水利を計画的に配置するために、消防水利の基準に基づき最も有効な消防水利の整備を図っていく必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 消防本部 課名 警防課 担当係長 小原敏裕 内線 377

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	09	01	04	0402	消防水利維持管理整備事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		16,226	19,498		3,272
財源内訳	国・県				
	地方債	8,100	10,400		2,300
	その他				
	一般財源	8,126	9,098		972

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	-------------------------------	-----------------

部経営方針における目標
防災危機管理体制の充実

事業開始の背景・経緯
市は火災を予防し消火する義務があり、そのためにも消防水利を設置、維持管理する必要がある。

事業概要
○消火栓維持管理
・火災等の災害時、支障なく使用し活動できるよう消火栓の保守点検及び維持管理を行い不具合のある水利については必要な修繕を実施する。
○消火栓水利施設整備
・火災時の被災建物等を早期鎮圧・鎮火し、また、他への延焼を防止するため新設消火栓を設置する。
・支障消火栓の移設
・老朽化防火水槽の撤去

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
市内全域の消防水利を地域格差なく均一に配置できればよいが、水道配水管や道路形状等の理由により無水利地域ができる。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○消火栓維持管理 **9,484** 千円

◇ 消火栓保守及び維持管理…2,073千円

花巻地域	大迫地域	石鳥谷地域	東和地域	合計
1,261基	87基	416基	239基	2,003基

◇ 消火栓等の修繕…7,411千円

- (内訳) ・水道配水管敷設換えに伴う老朽化消火栓更新修理 3基…2,591千円
石鳥谷・新堀1基、八幡1基 東和・土沢1基
- ・既存消火栓一般修繕 26基…3,360千円
- ・防火水槽修繕 641千円
- ・防火水槽、防火ため池の清掃業務 212千円
- ・軽微な修繕に係る補修資材の購入 96千円
- ・消防水利、消火栓標識の購入 511千円

○消火栓・防火水槽水利施設整 **10,014** 千円

◇ 消火栓の新規設置 7基…8,447千円

花巻地域3基、大迫地域1基、石鳥谷地域1基、東和地域2基

◇ 支障消火栓の移設 1基(花巻地域)…459千円

◇ 老朽化防火水槽撤去 1基(石鳥谷地域)…1,108千円

- (内訳) ・防火水槽撤去 486千円
- ・撤去支障物物件調査業務委託 389千円
- ・支障物撤去補償金 233千円